

WHAT IS CLAIMED IS:

1. N-グリコシド結合複合型糖鎖還元末端のN-アセチルグルコサミンの6位にフコースの1位が $\alpha$ 結合する糖鎖修飾に関与する酵素の活性が低下または欠失するように、ゲノムが改変されたマウスまたはその子孫。

2. N-グリコシド結合複合型糖鎖還元末端のN-アセチルグルコサミンの6位にフコースの1位が $\alpha$ 結合する糖鎖修飾に関与する酵素のゲノム遺伝子がノックアウトされた、請求項1に記載のマウスまたはその子孫。

3. N-グリコシド結合複合型糖鎖還元末端のN-アセチルグルコサミンの6位にフコースの1位が $\alpha$ 結合する糖鎖修飾に関与する酵素のゲノム上の対立遺伝子のすべてがノックアウトされた、請求項1に記載のマウスまたはその子孫。

4. N-グリコシド結合複合型糖鎖還元末端のN-アセチルグルコサミンの6位にフコースの1位が $\alpha$ 結合する糖鎖修飾に関与する酵素が、 $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼである、請求項1に記載のマウスまたはその子孫。

5.  $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼが、以下の (a)または(b)から選ばれるDNAがコードする蛋白質である、請求項4に記載のマウスまたはその子孫。

(a) 配列番号2で表される塩基配列からなるDNA；

(b) 配列番号2で表される塩基配列からなるDNAとストリンジェントな条件でハイブリダイズし、かつ $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼ活性を有する蛋白質をコードするDNA。

6.  $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼが、以下の (a)、(b)及び(c)からなる群から選ばれる蛋白質である、請求項4に記載のマウスまたはその子孫。

(a) 配列番号1で表されるアミノ酸配列からなる蛋白質；

- (b) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換、挿入および／または付加されたアミノ酸配列からなり、かつ $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼ活性を有する蛋白質；
- (c) 配列番号1で表されるアミノ酸配列と80%以上の相同性を有するアミノ酸配列からなり、かつ $\alpha$ 1,6-フコシルトランスフェラーゼ活性を有する蛋白質。